

2020年10月2日
損害保険ジャパン株式会社

氷見市との『防災力向上に関する連携協定』の締結について

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、市民の防災力向上を推進するための協力に関して、氷見市（市長：林 正之）と『防災力向上に関する連携協定』を10月2日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・損保ジャパンは、「市民、行政、NPOなどとの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献をすること」をCSRの重点課題の1つとしています。
- ・損保ジャパンでは、富山県内トップシェアの損害保険会社として、安心・安全・健康の分野を中心に地域と産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを活かし、サービスの向上と地域の活性化に貢献するため、氷見市に防災力向上に関する連携を提案し、このたび協定に至ったものです。

2. 協定の目的

氷見市と損保ジャパンは、防災力向上を推進するための協力に関して、密接な連携・協力により、大規模災害が発生し、または発生する恐れがある場合に備え、市民や市の職員、企業等の防災力向上を図る取組みを行います。

3. 協定の主な内容

損保ジャパンの強みや特徴が活かせる以下の6項目について業務連携を行います。

- (1) 災害時における無人航空機（ドローン）による情報収集に関すること
- (2) 市民や企業等への防災意識の啓発および防災知識の普及に関すること
- (3) 市の職員への防災意識の啓発および防災知識の普及に関すること
- (4) 防災訓練、防災に関するセミナーおよびイベントへの参加に関すること
- (5) 地域防災力向上に関する情報交換に関すること
- (6) その他、防災・減災および災害対応における連携・協力に関すること

4. 今後について

損保ジャパンは、今後も地方自治体の地域防災力向上など、市民の方が安心して暮らせる安全な地域社会を創生することに貢献していきます。

以上